

当たり前と思っていた「ふだんの暮らし」を揺さぶっているCOVID19。今や、どこにいても何をしていても、いつだってただで感染のリスクはゼロではありません。

感染が確認された方々、私たちの暮らしを守り、支えてくれる方々(医療従事者・「エッセンシャルワーカー」の皆さまなど)が、それぞれの暮らしの場で「ただいま」「おかえり」と言いあえるまちでありますように――。

そんな愛媛の有志の想いに賛同し、新潟で活動しています。

シトラスリボン from ニイガタ



シトラスリボンプロジェクト HP ▶

シトラスリボン from ニイガタ



Citrus Ribbon
PROJECT

ただいま、おかえりって言いあえるまちに

91mm

シトラスリボンプロジェクトとは

コロナ禍で生まれた差別、偏見を耳にした愛媛の有志がつくったプロジェクトです。愛媛特産の柑橘にちなみ、シトラス色のリボンや専用ロゴを身につけて、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を広めています。リボンやロゴで表現する3つの輪は、地域と家庭と職場（もしくは学校）です。

「ただいま」「おかえり」と言いあえるまちなら、安心して検査を受けることができ、ひいては感染拡大を防ぐことにつながります。また、感染者への差別や偏見が広がることで生まれる弊害も防ぐことができます。感染者が「出た」「出ない」ということ自体よりも、感染が

確認された“その後”に的確な対応ができるかどうかで、その地域のイメージが左右されると、考えます。コロナ禍のなかに居ても居なくても、みんなが心から暮らしやすいまちを今こそ。コロナ禍の“その後”も見すえ、暮らしやすい社会をめざしませんか？

ロゴマーク、キーホルダーのモチーフについて

伝統の水引「叶結び」の「人」型で人が中心になって、3つの輪（地域と家庭と職場（もしくは学校））を繋げている様を表しています。

55mm

110mm